

MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージックライフ

特集:METALLICA

TAKE FREE!



世界的に最も成功を収めたメタルバンド!

Tribute to METALLICA
Show & Exhibition 開催決定!

MUSIC LIFE CLUB 発足記念号
musiclifeclub.com

2018
SUMMER
ISSUE

ミュージック・ライフ2018夏号(無料)
THE BEATLES&METALLICA Photo by MUSIC LIFE ARCHIVES/KOH HASEBE
発行:SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK/duo MUSIC EXCHANGE
この冊子の記事・写真の無断転載は固くお断りします。
記事、広告の掲載と配布に関するお問い合わせは info@legendofrock-show.com まで

MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージックライフ

特集:The Beatles

TAKE FREE!



MUSIC LIFEが見た!
The Beatles Show

Tribute to The Beatles
Show & Exhibition 開催決定!

MUSIC LIFE CLUB 発足記念号
musiclifeclub.com

2018
SUMMER
ISSUE

発行:SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK / duo MUSIC EXCHANGE



The Beatles 最後ツアーでザ・ビートルズは何を思ったのか…

▲1966年8月29日 ザ・ビートルズの北米ツアーの最終日。サンフランシスコ、キャンドルスティック・パーク。

1966年8月、初来日から一ヶ月半後、ザ・ビートルズの北米・カナダの14カ所を回る大規模なライヴ・ツアーがスタートした。スタジアムクラスの会場では、自分たちの演奏もほとんど聞こえない熱狂の中、彼らは自らライヴ活動を休止する決断をする。最後のツアーということを意識していたかどうかはわからないが、ステージ上では渾身の演奏を聴かせた4人。その北米ツアーに密着同行した元ミュージックライフ編集長、星加ルミ子とカメラマン、長谷部宏が当時の取材の様子をリアルに語ってくれた。（ミュージックライフで2002年に行われた対談を再掲載しました。）

星加：北米ツアーの同行取材も、同じ年の日本公演の初日の夜にトニー・バーロウ（広報担当）から、よかったです一緒に来ないかって招待されたんだけど、ほんと、信じられない話だったわ。もちろん、行きますって即答したんだけど、それから一ヶ月後にブライアン・エフスティンから特別取材許可証と正式に取材を要請する手紙が届くまでは、さすがにちょっと不安だった。

長谷部：うん、ツアーは全部で14カ所だったか？ 全部は同行できなかったな。とびとびで5、6カ所だったか？

星加：そう、ビートルズのツアー・スケジュールも殺人のだったけど、私たちも休む暇がなかったほどだったから全部は同行できなかつたよね。

長谷部：ジョン・レノンがブライアンに「オレを殺す気か？」って冗談半分でかみついたって言っていたけど、僕もまったく同意見だつたな。

星加：それで8月11日にシカゴで彼らのアメリカ到着を出迎えて、12日のシカゴから、メンフィス（8月19日）、ニューヨーク（8月23日）、ロサンゼルス（8月28日）、そして最終日、29日のサンフランシスコのキャンドルスティック・パークを取材したのね。20日のシンシナティでも彼らと合流したけど、ステージは観なかつた。

長谷部：まあ、ステージはどこも大差はないだろと思って、シカゴとメンフィスはとりあえず様子を見ておこうかっていうくらいで、あまり撮らなかつた。

星加：ステージ構成や曲順は取材した5会場

とも日本公演とほとんど一緒だったしね。ただラスト・ナンバーがアメリカでは、ポールが敬愛するリトル・リチャードのヒット曲の「Long Tall Sally」だったのが、なんかとっても印象的だった。個人的にすごく好きな曲だったし。結果的には彼らのコンサートのほんとのラストソングになってしまったわけだけれども。

長谷部：まさか最後のツアーになるとは、誰も思っていなかつたわけだからね。知りていればもっと撮っていたかもしれないな。だからしっかり撮ったのはニューヨークのシェア・スタジアムとロサンゼルスのドジャー・スタジアムだけだったんだ。とにかくあそこでは35分間のステージでスタジアム中を走りまわって撮つた。

星加：そう。いまここで撮っていたかと思ったら、もういないんだもの。あとで写真見たら一番上の客席からも撮っているのね。

長谷部：会場でのかさを撮つてみようと思って、今まで行くしかないだろうって走つた。

星加：ほんとにスタジアムはどこも5万人以上は入るところばかりで。あの頃は、さすがに圧倒されたわよね。

長谷部：うん。アメリカのスケールでのかさには、さすがに驚かされたな。

星加：でも、ジョンがその年の4月にロンドンでインタビューに答えた「ビートルズはいまやイエス・キリストよりもボビュラーな存在だ」という発言がツアー一直前になってアメリカすごい問題になっていたのよね。彼らがシカゴ入りする前まで、ツアーはキャンセルになるかも知れないっていう情報が飛び交っていたし。私たちも、いったいどうなるのって。けっこうハラハラものだった。でも、シカゴでの記者会見のときは、ジョンもポールもプレゼントした羽子板を持ってすごく喜んでくれていたし。にこやかだった。

長谷部：でもニューヨークでは、記者会見が始まる前までは、さすがに彼らもナーバスになっていたな。

星加：そうね、その前のメンフィスでもかなりビリビリしていた。私たちは知らなかつたんだけど、後で聞いたら夜のコンサートの途中に会場で爆発音がして一時は騒然としたっていうのよね。

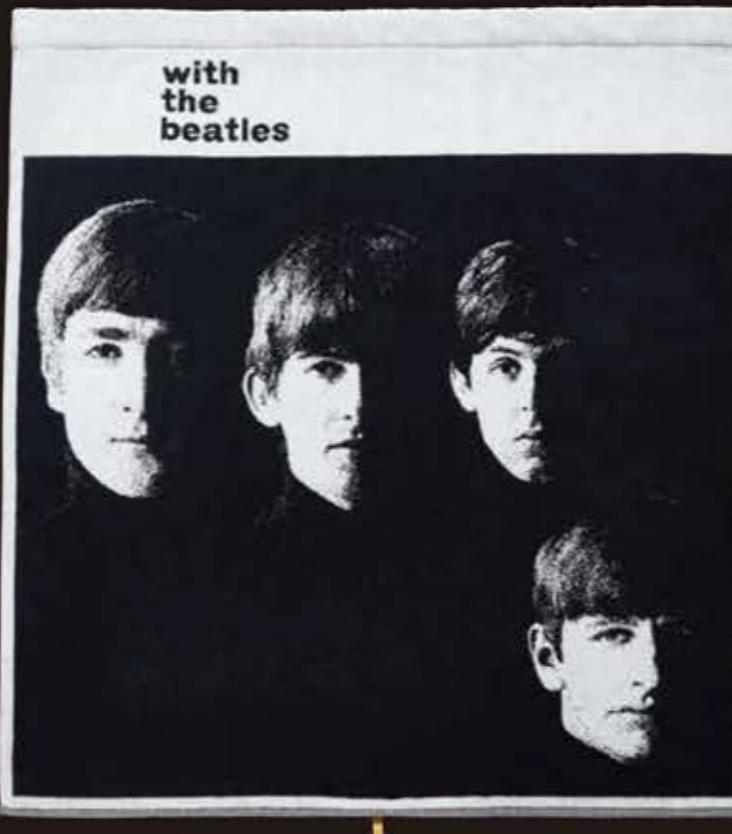
長谷部：まあ南部は保守的だから、キリスト発言にはすごく抵抗があつたんだろうな。

星加：メンフィスではジョンも懸命に謝罪して



ザ・ビートルズ 1966年8月29日 サンフランシスコ公演 演奏曲目

1. Rock and Roll Music
2. She's A Woman
3. If I Needed Someone
4. Day Tripper
5. Baby's In Black
6. I Feel Fine
7. Yesterday
8. I Wanna Be Your Man
9. Nowhere Man
10. Paperback Writer
11. Long Tall Sally



THE BEATLES

IKEUCHI ORGANIC

『The Beatles』50周年記念
タオル地タペストリー限定販売！

2018.4.20 第一弾『With The Beatles』予約開始

 IKEUCHI ORGANIC 公式オンラインストア
QRコードより、特設サイトにアクセスいただくとご予約できます。
<https://www.ikeuchi.org/fs/ikor/c/beatles>
お問い合わせ tel 0120 939 682 (9:00-17:30、平日のみ)

ミュージックライフ世代の洋楽ファンの皆様へ MUSIC LIFE CLUB 発足のお知らせ

ザ・ビートルズから、レッド・ツェッペリン、クイーン、ジャパン、キッス、エアロスマス、ヴァン・ヘイレン、そしてデュラン・デュランまで。ロック黄金時代を雑誌ミュージックライフと共に過ごされた音楽ファンの皆様に嬉しいお知らせです。

2018年4月14日“MUSIC LIFE CLUB”がスタートします。洋楽ファンの皆さんための会員組織で入会は無料！会員登録していただいた方には、60年代から80年代に活躍した洋楽アーティストのライブ・スケジュールや本やCDの発売情報を定期的にメールマガジンでお知らせします。現在、メールマガジン先行会員募集中です。

musiclifeclub.com





▲ご購入はこちら
SHINKO MUSIC RECORDS SHOPにて販売中
<http://shinko-music-shop.com/>



THE BEATLES SPECIAL GOODS

ミニチュアジャケット・コンプリートセット+3
全48枚セット通販限定発売中！ 販売価格:24,900円(税込・送料込)

ザ・ビートルズのファンにとってはインテリアにも最適なミニチュアジャケットシリーズ3セットにジャケット3枚を追加した『ミニチュアジャケット・コンプリートセット+3』(ジャケット48枚セット)がSHINKO MUSIC RECORDS通販にて限定数発売中!ミニチュアジャケットシリーズ(Vol.1・Vol.2・Vol.3(各15種×3)は世界各国の個性的なレコード・デザインがセレクトされています。さらにコンプリートセット+3には『ビートルズ・フォーセール』『リボルバー』『レット・イット・ビー』の他では販売していない名作3枚が加わり、これでザ・ビートルズのイギリス・オリジナル・アルバムと言われる12枚すべてが揃います!

■商品内容:ミニチュアジャケット Vol.1(15種)
Vol.2(15種)/Vol.3(15種)+ジャケット3枚
■ミニチュアジャケット・コンプリートセット+3(ジャケット48枚セット)
■ミニチュアジャケット・サイズ: 左右50mm x 天地50mm
■パッケージ内容:ミニチュアジャケット、ミニレコード
ミニイーゼル、解説
■ザ・ビートルズ・オフィシャル商品です。
■ミニレコードからは音は出ません。コンプリート用ジャケット3枚にはミニレコード、ミニイーゼルは付いておりません。
■問い合わせ:SHINKO MUSIC RECORDS 03-3295-7817

LEGEND OF ROCK



LEGEND OF ROCK



Show&Exhibition
MUSIC LIFE CLUB presents Vol. 106 For MUSIC LIFE Lovers

LEGEND OF ROCK MUSIC LIFE が見た!
The Beatles Show

6 / 27 2018 WED.

会場: 渋谷 duo MUSIC EXCHANGE
時間: 開場 18:00 開演: 19:30
出演: The Beatmasters as The Beatles
内容: Tribute Show/Exhibition/and more
料金: 前売り ¥3,500 0 当日 ¥4,000 0 共に1 drink別
特別協力: (株)シンコーミュージック・エンタテイメント/MUSIC LIFE CLUB

Date: Wednesday, 27 June 2018
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCHANGE
Time: OPEN 18:00 / START 19:30
Act: The Beatmasters as The Beatles
Contents: Tribute Show/Exhibition/and more
Ticket: ADV. 3,500JPY DOOR. 4,000JPY (without 1 DRINK)
Special Cooperation: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD. / MUSIC LIFE CLUB

チケット予約

Ticket Reservation

Show&Exhibition
MUSIC LIFE CLUB presents Vol. 107 For MUSIC LIFE Lovers

LEGEND OF ROCK ~Tribute to METALLICA~

1 / 23 2018 MON.

会場: 渋谷 duo MUSIC EXCHANGE
時間: 開場 18:00 開演: 20:00
出演: HATTALICA as METALLICA / and more
内容: Tribute Show/Exhibition/and more
料金: 前売り ¥3,500 0 当日 ¥4,000 0 共に1 drink別
特別協力: (株)シンコーミュージック・エンタテイメント/MUSIC LIFE CLUB

Date: Monday, 23 July 2018
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCHANGE
Time: OPEN 18:00 / START 20:00
Act: HATTALICA as METALLICA / and more
Contents: Tribute Show / Exhibition / and more
Ticket: ADV. 3,500JPY DOOR. 4,000JPY (without 1 DRINK)
Special Cooperation: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD. / MUSIC LIFE CLUB

チケット予約

Ticket Reservation



THE BEATLES JAPAN WEEK 特別企画

ザ・ビートルズのベストセラーブックとイベント入場券セットを発売!

シンコーミュージックが発行する数百冊のビートルズ関連本の中からベストセラー・ランキング上位3冊をセレクト! これらと6月27日(LEGEND OF ROCK~MUSIC LIFE が見た!The Beatles Show)の入場チケットのセットを期間・数量限定でSHINKO MUSIC RECORDS SHOPにて販売いたします。ここでしか手に入らない購入特典もつきます。ぜひ、詳細をご覧ください。



<http://shinko-music-shop.com/>



METALLICA 最強ベストセラー&入場券特別企画

購入特典は初来日時の貴重ピクチャーカード

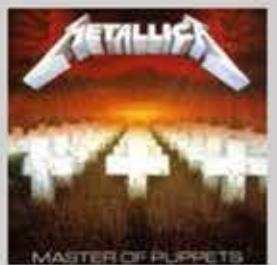
MUSIC LIFEはもちろん、BURRN! YOUNG GUITARでも幾度となく表紙を飾っているメタリカ。デビューから今日まで、彼らを支持しつづけたSHINKO MUSICのメタリカ本の中から最強3冊をセレクト!

7月23日(LEGEND OF ROCK~Tribute to METALLICA)の入場チケットとのセットを期間・数量限定でSHINKO MUSIC RECORDS SHOPにて販売いたします。どのセットにも1986年初来日時の貴重なピクチャーカードの購入特典付き!



<http://shinko-music-shop.com/>

HATTALlicaのKirz がオススメするCDレビュー



1986年発表の3作目。MTV全盛期にPVもラジオのエアplayも無くライブの評判のみでTop200に72週ランキン、ゴールドディスクを獲得。このアルバムをきっかけに、オジー・オズボーンのソーサポートに抜擢され、世界的メタルバンドへと躍進していく。収録曲8曲全てが新しいメタルのジャンルを作ったと言ても過言ではない、メタル史に残る歴史的名盤。

2017年11月、初の正式リマスターが施され発売されたボックスセット(好評発売中!)がなんとデミマークとインドネシアの外交で使われるというニュースに度肝を抜かれた。ファンとの絆を歌った名曲1、ライブの大定番2、ティープ・ムステインとの最後の共作6、クリフの魂の7、余談だが、日本ではタイトル曲の略称が「マスバヘ」や「マスター」だが、本人達は「PUPPETZ(パッペッツ)」と略す。

1998年発表。去年、カナダのメタリカカバー・バンドが機材盗難された時に救いの手を差し伸べ話題になったメタリカ。「俺たちもカバー・バンドからスタートしたから。(ジェイムス)そんな彼らがデビューからずっとレコーディングしてきたカバー曲に98年当時の新譜を併せた。彼らのルーツに迫るベスト盤。カバーなどのどこを聞いてもメタリカがいる。新譜はメンバーのマニアックな選曲だけかと思いきや、86年に急遽したクリフ・パートンが大好きだった曲(Disc1-5,9,10)が選曲されてるのが感慨深い。余談だが、本アルバムにも収録された87年リリース後長年廃盤だったEP『The \$5.98 E.P. Garage Days Re-Revisited』が正式リマスターを施され、4/13発売された。新入りジェイソンの初々しくも緊張感のあるベースと、それをおねじ伏せるジェイムスのヘヴィなワウ音。そのギャップを是非リマスター盤でチェックしてほしい。



1991年発表の5作目。通称ブラック・アルバム。メタリカ史上最もヒットしたシングル「Enter Sandman」から始まるこのアルバムは現在までに3000万枚以上の売り上げを記録(全世界で最も売れたアルバムチャートで21位)。メタル界を超えた伝説の1枚。

ボブ・ロックをプロデューサーに起用し、前作までのスラッシュメタルを足しめる要素を抑え、世のグラフィック・アートをも自分らの持ち味に変え、これが大成功。アルバムのツアーは約3年にも及び、ボックスセット『Live Shit: Binge & Purge(邦題 メタルVOXライブ!)』でその凄まじさが確認できる。ライブの大定番曲1,2,8にカバー・バセットの一曲のギターソロと名高い4、ファン支持の熱い3と5、空耳でお馴染みの7。そして12の「Go!」の一聲で僕らの心は完全に持っていくかれてしまう。



2016年11月発表の10作目。現時点でのMETALLICAの最新作。レコーディングしてあるアーピールに何年も焦られたが、同年8月いきなり告知し世界を驚かせた。発売前に全曲PVを次々と発表、全世界を寝不足にもした。結成から35歳ってもその人気は衰えず、本作のツアーや公演数が決して多くなかったにも関わらず2017年ロックバンドでの最多売上を記録。モンスター・バンドの快進撃は止まらない。

前作同様、初期のチューニングに戻しジェイムズの声はより若々しく、より洗練されたリフ、カーキの自由な弾きまくりは健在だ。このアーピール、オススメは3枚組、大好評発売中の1作目、2作目のボックスセット発売時のおススメ! そのギャップを是非リマスター盤でチェックしてほしい。

ご購入はこちらから
<https://item.rakuten.co.jp/wondergoo/c/0000002616/>



新星堂 WonderGOO



SHINKO MUSIC RECOMMENDED BOOKS

ミュージック・ライフが見たチープ・トリック

B5判 176ページ 定価2,800円+税

懐かながら『チープ・トリックat武道館』40周年記念の武道館公演は延期になってしまいましたが、ミュージック・ライフは40周年を祝って、これまでにミュージック・ライフに掲載された記事をまとめて復刻します!! 本国アメリカのメディアに先駆けて、いち早くチープ・トリックの魅力を見出し大々的にピッシュしたのがミュージック・ライフでした。鮮烈なデビューから初来日、そして世界でブレイクするまで、ミュージック・ライフだから迫ることができた素顔を一挙公開。武道館ラ

イヴで日本との特別な絆を結んだチープ・トリック黄金時代を、秘蔵写真とスペシャル記事満載でここに完全密封。これを読みながら、来日公演を待ちましょう!

主な内容

- ミュージック・ライフ表紙
- デビュー時の超貴重インタビュー
- 直筆アンケート
- 来日密着ドキュメント
- リック・ニールセンが書いたクイーンのライブ・レポート!



ご購入はこちらから <https://www.shinko-music.co.jp/item/plid0645987/>



SHINKO MUSIC RECOMMENDED BOOKS

ミュージック・ライフ完全読本

B5判 176ページ 定価1,800円+税 発売中

『ミュージック・ライフ』のすべてがここに!! ビートルズ、ツェッペリン、クイーン、デュラン・デュラン、ポン・ジョヴィ!! シンコーミュージックが初めて出版する決定版が登場!! 60年代から90年代まで、日本の洋楽シーンをリードしてきた『ミュージック・ライフ』のすべてが初公開!!

ビートルズ、レッド・ツェッペリン、デヴィッド・ボウイ、クイーン、KISS、ジャパン、デュラン・デュラン、ポン・ジョヴィ、ガンズ・アンド・ローラーズ!! 日本でロックの歴史はどう動いてきたのか?! シンコーミュージックが初めて出版する『ミュージック・ライフ』の決定版が登

場します。今まで見たことがない貴重な表紙コレクション、ロック史を語ってきた主要記事、歴代編集長&関係者インタビューなど、全洋楽ファン必見の企画が満載!!

主な内容

- ミュージック・ライフ表紙コレクション
- 50年代から90年代まで、ミュージック・ライフ詳細ヒストリー
- 歴代編集長&関係者インタビュー
- ミュージック・ライフ人気投票の変遷
- 歴史を飾った主要記事再録



ご購入はこちらから <https://www.shinko-music.co.jp/item/plid1646045/>

俺たちはいつでもキッズの味方、 その姿勢は変わらないぜ!



カーネル・ハム(ギター) / ジェイソン・ニューステッド(ベース) / ジェイムス・ヘッドフィールド(ボーカル) / ラース・ウルリッヒ(ドラム)

—あなた方のコンサートを見て、何だか“男の世界”みたいな感じで果たして女の子たちの入りこむ余地があるのかどうか気になっているのですが。

ジェイムス：そうさ、おれは男だよ、間違いなく！(笑) 女の子たちに、ある種の恐怖を与えるライブかも知れないね。でも、アメリカやヨーロッパじゃあ、観客の90パーセントが野郎だけど、日本では半分半分という印象を受けた。それに、女の子たちも、男と変わらないくらい、よくのっていたし。怖がっているのなら、その必要はないと書いといってくれよ！

—アメリカのインタビュー記事を読むと必ず“SUCCESS～成功”という表現が出てくるのですが、あなたにとって成功とは何を意味しますか？

ラース：成功というのは、ある日突然やってきたんじゃないなくて、ジワジワとやってきた。レコードがゴールド・ディスクになって嬉しいとは思うけど、僕にとっての成功とは…

ジェイムス：快適な生活がおくれて、世界中をツアーやまわって、楽しいことがいっぱいあって、僕たちの音楽や生活に関して誰が何と言おうが、耳をかしたり妥協をしなくてもいいことさ。今は、僕らのファンに「ホラ、ラジオでかかるなくてもビデオ・クリップを作らなくて、キミたちの力で僕らは“成功”という言葉を使えるんだぜ！」そう言えることの方が嬉しいな。

ジェイソン：成功なんて、それぞれの人によって尺度が違うだろ。ある人にとつては、得た金が成功の尺度になるだろう。僕らにとつては、“妥協しなくともいいこと”それが成功の意味だ。

—でも、これだけの人気になったことで、これまでのカルト的な人気を失うことになるのでは？

ラース：人気、特にカルト・フォロワーに支えられた人気とは不思議なもので、バンドがちょっと方向を変えただけで、

う表現になつたんだ。

—だけど、メタリカが好きなあまり、それをそのまま受けとるファンがいないとも限らないでしょ？

ジェイムス：もし、僕らの歌をきいて、すぐに何かを破壊しにとび出した奴がいたら、それは大した奴だ。僕らはこの歌の意味はこうだから、これを聞いてこうしろ、なんて説明はいっさいしない。受けとる側がどう受け取ろうとそれは自由。

カーネル：もし、そしたら、マシンガンをうちまくる暴力映画や、すごいシーンが連続するマンガ本を見て、ガキがすぐに、よし、俺たちもやろうぜ、とやっちまうかい？ そんなはずはないだろ。世の中、暴力的なことは、あっちこっちにあるさ。それを、人々が自分の中でどう受けとめ、さらにどう表現するかは、それぞの個性だと思う。(ホクトのケーン)と突然、カーネルが叫ぶ)僕の大好きなマンガだけね、暴力でいっぱいだよ。家に帰ると何千冊というマンガがあるけど、日本のもたくさんある。『北斗の拳』『デビルマン』『ウルトラマン』『ゲゲゲの鬼太郎』『仮面ライダー』『鉄腕アトム』特に『デビルマン』が大好きで、アメリカではデビルマン人形を手に入れるのがすごく難しいんだ(笑)。ジェイソンはメタリカに加入するにあたって、これまでの奏法を変える必要はありました？

ジェイソン：ぜんぜん。これまでより、ヘタに演奏すりやいいだけさ(笑)。ウソだよ。僕の前のバンドもパワー・メタルで、早いベース・ラインのバンドだったので、基本的に同じだ。ただ、曲をおぼえるのとリハーサルで、不眠不休の毎日が続いたけど。

—日本に来てからライブ会場とホテル以外の、何かおもしろい体験をしましたか？

カーネル：キティ・ランドに行ったのとマクドナルドを食べたこと！

ジェイムス：ホテルをぬけ出して駅で切符を買って入ろうとしたら、何と子供の切符だから入れないんだ。品川駅でさ(笑)。おいしいスシとさしみをいっぱい食べたのは最高だった。

—初めて見たロック・コンサートは何でした？

ジェイムス：1978年のエアロスマスとAC/DCを見たのが最初だな。

ラース：僕は1973年の12月9日にコペンハーゲンでディープ・パープルを見たけど、デヴィッド・カヴァテールとグレン・ヒューズだった。1975年の3月20日にリッチャーがいた最後のパープルも見たけど、その時の前座がエルフで、レインボーは、ほとんどエルフからできただ。(すごい記憶力！)

このインタビューは、メタリカ初来日時、ミュージック・ライフ1987年1月号より復刻掲載しました)